

独立行政法人国立病院機構
沖縄病院 広報誌

発行日

平成22年 1月1日

第21号

発行所

沖縄県宜野湾市我如古3丁目20-14

編集発行 広報委員会



基本理念

患者さまの立場を尊重し高度で良質の医療を提供します。



喜友名の石獅子群 喜友名集落(当院から約7 Km)の周囲には、石彫りのシーサー(獅子像)が7体ある。シーサーは、魔よけとして、寺社や城の門、貴族の墓陵、御獄、村落の出入口などに置かれている。喜友名の石獅子群は、どれも表情豊かで、集落を取り囲む石獅子の数としては、沖縄県で最も多い。



運営方針

- ①政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
- ②患者さまの視点に立った、暖かく思いやりのある接遇
- ③健全な経営基盤の確立
- ④安心して療養に専念できる快適な環境
- ⑤臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実



表紙の花: ブッソウゲ(仏桑花)：俗称「ハイビスカス」、アオイ科フヨウ属の低木。赤いハイビスカスが一般的であるが、黄色、白、橙系・紫系・桃系の色々な色のハイビスカスがある。民家、公園などいたるところで見られる沖縄の代表的な花である。沖縄では後生花とも呼ばれ、墓地に植栽する習慣がある。

(12月、当院中央監視室南側花壇にて撮影)

目次

年頭の挨拶	2
国立病院機構QC活動 奨励表彰「優秀賞」を受賞して	3
病院主催慰霊祭	4
クリスマスコンサート	5
沖縄病院月桃会開催!!	6
医局員一覧	7
外来診療科担当医表	8
医局業務分担表	9
医事統計・編集後記	10

ロゴマークの意味



南国沖縄のイメージを表現する為に、原色(はっきりとした色)を基調とし、ベースは沖縄 okinawa の“O(オー)”を表しています。肉太い赤で太陽を表現。中は波をブルーで表し、全体として健康を象徴する人間の笑顔をかたち取っています。



2010年 年頭の挨拶

院長 石川 清司

新年おめでとうございます。

国立病院機構沖縄病院も独立行政法人へ移行し、第2期中期計画の策定となりました。国立病院機構全体としては高い外部評価を受け、第1期中期計画は順調に遂行できたものと言えます。しかし、個々の施設の置かれた位置づけは多様です。統廃合により、最新の医療機器を装備し救急医療を含めて、地域医療の中核施設としての役割を担う医療機関(旧国立病院)もあれば、老朽化した施設で結核、重心、筋ジス等の国の政策医療を中心とした医療を展開する旧国立療養所も存在します。

沖縄病院は平成20年度において経営面、診療面を含めて「A」の評価を受けました。ひとえに職員の日常診療における努力と国の政策医療に対する地域住民、そして県医師会会員の理解と支援によるものと感謝いたします。結核医療という極端な非採算部門を抱えながら、ある程度の経営基盤を確立できたことは高く評価されるものです。

残念ながら筋ジス病棟の建て替えと神経・筋センター構想は実現できず、大きな課題を残すことになりました。次年度の診療報酬の改定を念頭に置きつつ、神経・筋センター構想の実現に向けて努力を続けます。幸いにも神経内科部門は、強力な陣容をそろえており絶好の飛躍の時と考えております。

がん専門病棟の充実と緩和医療の質の向上は、当院の将来を占うものです。「がん診療拠点病院」は、地域医療の枠組みの中で決定されたものです。私どもには、過去30年間にわたる肺がん診療の実績とデータの蓄積があります。肺がんは集学的治療の要求される代表的疾患であり、その診療の質の向上と他疾患へ

の応用を図ることによって、拠点施設を凌ぐ勢いで業績を積み重ねて行きたいと思っております。

昨年は沖縄県における県立病院の在り方が問われました。基本的には公務員意識からの脱却にあるものと思われれます。単年度予算の決定的な構造的欠陥もありますが、改革に改革を続ける民間の医療機関の手法も取り入れるべきでしょう。私どもが取り入れた意識改革としてのISO9001:2000の認証取得と更新、PDCAサイクルの回転は、未だ十分ではありません。根強い公務員感覚を脱ぎ捨て、回転の速度を速め、継続的改革を推進していきます。

政権の交代があり、独立行政法人のあり方が問われます。私どもは「教育」と「医療」は、国の将来を占うものとして位置づけ、セーフティネットとしての役割を果たしていきたいと思っております。どのような構造改革がなされるにしても、地域住民、県民のための医療、そして全国に発信できる臨床研究の蓄積により、県民の信頼を勝ち得ることこそが確固とした病院の存在基盤になることを再確認したいと思っております。

職員にとって働きがいのある病院づくり、そして県民の健康を守るための最新の医療の提供、臨床研究による医学の進歩に貢献していきたいと思っております。

2010年1月



国立病院機構QC活動奨励表彰「優秀賞」を受賞して

看護師長研究会 大城 夏子



国立病院では、職員一人ひとりが病院運営とあらゆる課題に対して、様々な創意工夫を凝らし、職務職責を越え、互いに協力しあい、これらの改善に取り組んでいくことを主旨に「できることから始めよう!」をキャッチフレーズにQC活動が開始されました。

平成20年度看護師長研究会は、「経営活動」について取り組みました。

タイトルは「日常茶飯の“飯”に注目した脱“てーげー隊”のもうけ話」～オーダーリングが完成されていない施設でのアナログな奮闘記～としました。てーげーとは、「うちなーんちゅ」らしさを表現する言葉として、沖縄の方言で適当とかおおよそとかという意味で使用されます。特別食加算率と栄養指導実施加算件数の増加を目指して取り組む中で、てーげー感覚で実施されていることはないが、現場に密着した目で見てみると慣習となっていた小さな無駄を色々発見することができました。脱てーげーをめざし僅かな無駄に繋がった活動結果の一つ目は、食事の予備食の無駄発見。平日の入院患者の把握ができていないことで、毎昼食10食を新入院患者用として予備食を準備していました。そのため、入院の多い月曜日は不足し、逆に入院の少ない木曜日は余っている状況で無駄になっていました。そこで、各病棟の入退院状況を看護部長室で集計し、栄養指導室へ入院予報を毎朝ファックスすることによって無駄を改善しました(調査結果一ヶ月で¥17,160でした。)二つ目は特別食・栄養指導の指示漏れによる診

療報酬の無駄発見。従来医師任せになっていた食事箋を病棟師長が入院時に病名、検査データをチェックすることをシステムとして取り入れ、特別食対象の患者について主治医をアタック!特別食へ変更し、加算率と栄養指導実施件数の増加に繋がりました。三つ目は癌専門3病棟の主食の予備分の無駄を発見。化学療法等により食欲不振の患者へ対応できるようにと並食、軟飯、全粥各食を毎食3病棟へ配食していましたが、必要な患者については、その都度栄養管理室に連絡し受け取ることにしました。以上3つのことに関して取り組んだ結果、無駄は月あたり¥86,693になりました。

QC活動に応募することを目標に取り組んだ結果、第3期四半期で優秀賞をいただきました。もちろん受賞を狙う意気込みで提出しましたが、期日ギリギリの提出で諦めているところに受賞の連絡を受けた気分は今でも忘れられません。時間外に病棟訪問しカルテをチェックするなど看護師長全員で取り組んだ結果だと思っております。

今回の受賞病院の取り組み内容を見ても、身近なテーマに取り組んでおられます。常日頃から患者サービス、経営改善について意識し、各部署、病棟の皆様も取り組んでみてはいかがでしょうか。



機構本部理事室にて優秀賞授賞式



機構本部理事室にて受賞施設全員で

クイズ
この花は何
でしょう?

答えは10ページ
編集後記に!

平成21年度 病院主催慰霊祭

経営企画室長 伊藤 淳司

平成21年11月27日、病院主催の慰霊祭が多くのご遺族の参列のもとで行われました。慰霊祭はご遺族の介護の労をねぎらうとともに、病院職員との暖かい人間関係の構築、そして身近な人を失った方々の心のケア、気持ちの切り替えの場を提供することを目的として行われています。

慰霊碑「はまゆう乃塔」

病院の敷地内に慰霊碑が存在することはめずらしいものと思われま。当院は1948年沖縄本島北部、金武村字金武の「浜田原」に結核療養院として開設されました。戦後の混乱期、結核が蔓延した時代であり、多くの人々が結核で命を失い、幾多の悲劇が演じられました。多くの「療友」の霊を慰めるために慰霊碑「浜田原の療友」を意味する「はまゆうの塔」が建立されました。当院が金武町から宜野湾市への移転時に慰霊碑も同時に移設されました。

時代は大きく変わり、結核の時代から癌の時代を迎えました。「はまゆうの塔」は、避けることのできない「生・老・病・死」の旅を終えた方々の慰霊の館であり、「ぬち(命)ドゥたから(宝)」の沖縄の精神を受け伝えていきたいと思ひます。



はまゆう乃塔

院長の追悼の辞

本日ここに平成20年10月1日から平成21年9月30日までの1年間に国立病院機構沖縄病院において病のためにその生涯を閉じられた方々の合同慰霊祭を執り行うにあたり、病院を代表しまして謹んで追悼の辞を申し上げます。

月日の流れは速く、今年もめっきり秋から冬への気配を感じさせる今日このごろです。時の流れは多くの思い出を乗せて、着実に、そしてまた、静かに通り過ぎていきます。

ご他界されました方々は、これまでに社会にあつては、立派な職業人として活躍され、また家庭におきましては、良き家族の大切な一員として敬愛の念を一身に集めておられました。病気のために入院されてからは、ご家族の温かい介護と再起への祈りの中で、自らもまた前途に回復という大きな目標を掲げて病に立ち向かわれました。

私ども病院の職員は、現代医学の最善をつくして診療にあたり、患者様の病状の回復を願い、少しでも苦痛を和らげるべく努力を致しましたが、病状は如何ともし難く、患者様とご家族をはじめ、親しい方々の切なる期待に添えない結果となりました。後に残された方々の深い悲しみに思いを致すとき、医療に携わる者として真に無力感にさいなまれるものであります。

私ども職員は、今後ともご遺族のご意志にそふよう、たゆま

ぬ研鑽を積み重ね、これからの医療に取り組んでいく覚悟であります。

現代社会と医療を取り巻く激しい流れの中で、私たち医療人が、決して失ってはいけないものは、確かな倫理観と人間性に支えられた医療であり、私どもが深く肝に銘じなければならない基本理念であると思ひます。



当院デイケア棟にて

当、沖縄病院は緩和ケア病棟を開設しております。病気の治癒を目指すことに最大の努力を払いますが、現代の医学をもってしても治癒をもたらすことができない病状に対しては、ご家族の温かい支えのもとに、患者様がその人らしくその生涯を全うすることが出来ますよう痛みや多くの苦痛を取り除く治療にも力をそそぐべくその体制を整えております。良質かつ適切な医療を提供することだけでなく、患者様とご家族が病院職員との触れあひの中で温かい人間性を感じ取り、安心して快適な療養ができる病院を目指して、これからも努力を続けていきたいと思ひます。

ご家族、ご親族の皆様には、本日はご多忙の中を慰霊祭にご参加くださいましてまことにありがとうございました。愛する人との別れは、最も悲しい出来事ではありますが、この悲しい出来事は、悲しい出来事として、その事実をしっかりと受け止め、未来にむけて、一步一步、噛みしめて、共に歩いていきたいと思ひます。

故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご家族、ご親族の皆様方の健康と平安をお祈りしまして追悼の言葉といたします。

平成21年11月27日
国立病院機構沖縄病院 院長 石川清司



当院デイケア棟にて

クリスマスコンサート



緩和ケア病棟師長 比嘉 千佳子



暖かい沖縄も、日ごとに風の冷たさを肌を感じるようになり、やっと冬になったのかと思う今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

12月に入り、あちらこちらで「クリスマスソング」が聞こえるようになり、当院でも去った12月3日にクリスマスコンサートを開催しました。

「当院の外来・病棟で治療療養生活を送られている患者、家族の皆様手作りコンサートで精神的な癒しの環境を提供する」事を目的に開催しているクリスマスコンサートも第5回となり、コンサートの内容も年々バラエティーに富んだものとなっていて、参加する職員の意気込みを感じさせられます。

今年のクリスマスコンサートの内容は、薬剤科長率いる「メタボリックバンド」によるビートルズナンバーで、「イマジジン」「Happy・Christmas」から始まりました。

ちょい悪親父達の絶妙な歌声とエレキギターの演奏に加え、この日の為に薬剤師の鈴木さんが練習した沖縄の三味線との音のハーモニーがすばらしく、会場の患者、家族が聞き入っているのがわかりました。感動的なバンド演奏のあと、石川院長の温かい挨拶があり、まるで音楽のような院長先生の美声に聞惚れてしまいました。

又、昨年もこのクリスマスコンサートに参加し

ていただいた、川満さんらによる日舞は、普段観る機会があまりないので、大変感動いたしました。

次に、北3病棟職員の久高さん・波平さん・二宮さん・徳永さんらによる、「谷茶前」でしたが、軽快な踊りに拍手喝采で、会場の皆さんの笑顔が印象的でした。

そして、今回は歌手の砂川恵理歌さんが、ボランティアとしてクリスマスコンサートに参加していただき、「一粒の種」などを歌っていただきましたが、その歌声のすばらしさに、患者さんたちの表情が生き生きしているのがわかり、コンサートを開催してよかったなど、緩和ケア委員会のみんなでも感じました。

また来年、いいえずっとこのクリスマスコンサートを、患者様とその家族の皆様のために開催できるように、病院職員全体で取り組んでいきたいと思ひます。

砂川 恵理歌 さん

- ◆ 沖縄県宮古島市出身 沖縄県在住
民謡からソウルまでを歌いこなす豊かな歌声、屈託のない笑顔、そして赤ブチメガネがインパクト大で、地元沖縄では実力派のシンガーとして知られる。県内のCM曲を多数担当しており、テレビ・ラジオから砂川の歌声を聞かない日はないほど。介護職の経験をもつ、異色シンガー。



当院職員による生演奏：ハイパーメタボリックバンド(前方)とレディー Madonna(後方)



砂川恵理歌さん

さんにかい 沖縄病院月桃会開催!!

平成21年11月20日(金)に、西原町のエリスリーナ西原ヒルズガーデンにおいて第2回沖縄病院月桃(OB)会を開催しました。当日はOB58名、現職員44名の参加を得て、盛りだくさんの余興もあり、盛況のうちになごやかに終わることができました。

御出席いただいたOBの皆様、誠にありがとうございました。またの参加をお待ちしています。

そして、ご協力いただいた職員の方々、お疲れ様でした。感謝、感謝!

(管理課長 田中祐治)

さんにかい 第2回 沖縄病院月桃(OB)会 総会



看護部部長会

OBによる琉舞

職員エイサー同好会

医局員一覽

役職	氏名	卒業大学・診療研究分野	所属学会等
院長	石川 清司	岡山大学(昭和49年卒) 呼吸器外科・一般外科 肺癌、縦隔腫瘍の診断と治療、肺癌集検の精度管理、 肺癌の診断と治療	日本外科学会・指導医/日本胸部外科学会・指導医/日本呼吸器外科学会・ 指導医/日本呼吸器学会・専門医・指導医/日本呼吸器内視鏡学会・指導 医/日本肺癌学会/日本臨床外科学会/日本消化器外科学会/日本緩和医 療学会/日本小児外科学会/日本内視鏡外科学会/日本胸腺研究会/日本 CT検査学会/日本医療マネジメント学会・評議員/日本がん治療認定機 構暫定教育医
副院長	久場 睦夫	山口大学(昭和46年卒) 呼吸器内科 呼吸器疾患の診断と治療、肺癌の化学療法、肺結核 症の疫学・病態・治療	日本内科学会・認定医/日本呼吸器学会・専門医・指導医・評議員/日本 肺癌学会・評議員/日本呼吸器内視鏡学会・評議員/日本結核病学会・評 議員/日本感染症学会/日本癌治療学会/日本臨床病理学会/日本臨床細 胞診学会/日本医療マネジメント学会/日本がん治療認定機構がん治療認 定医/World Association for Bronchology
統括診療部長	末原 雅人	鹿児島大学(昭和57年卒) 神経内科・神経生理学 神経筋疾患・神経難病の臨床、HTLV-1関連疾患、 ミトコンドリア異常症、沖縄県の遺伝性神経筋疾 患、ALS患者の長期療養の諸問題	日本神経学会・専門医・評議員 日本神経免疫学会 日本内科学会・認定医

外科

外科部長	国吉 真行	岡山大学(昭和49年卒) 呼吸器外科・循環器外科 麻酔科肺癌の治療成績向上に関する研究 安全な手術のための器具の開発	日本外科学会/日本胸部外科学会/日本麻酔学会・標準医/日本呼吸器外 科学会/日本肺癌学会/日本呼吸器内視鏡外科学会/日本内視鏡外科学会 /日本集中治療学会
外科医長	川畑 勉	名古屋大学(昭和59年卒) 呼吸器外科・一般外科・血管外科 肺・縦隔病変の診断と治療、肺門部早期癌の保存的 治療、末梢動脈再建後の晩期閉塞に関する研究	日本外科学会・指導医/日本胸部外科学会・認定医/日本呼吸器外科学会・ 専門医・指導医・評議員/日本臨床外科学会/日本消化器外科学会・認定 医/日本内視鏡外科学会/日本呼吸器内視鏡学会/日本肺癌学会/日本血 管外科学会/日本体育協会スポーツ医
外科医師	河崎 英範	琉球大学(平成2年卒) 呼吸器外科・一般外科 肺癌の診断と治療、肺発癌と前癌病変	日本外科学会・専門医・指導医/日本胸部外科学会・認定医/日本呼吸器 外科学会・専門医・指導医/日本癌学会/日本呼吸器内視鏡学会/日本 肺癌学会/American Association for Cancer Research (AACR) / International Association for The Study of Lung Cancer (IASLC)
外科医師	饒平名 知史	琉球大学(平成7年卒) 呼吸器外科・一般外科 肺癌に関する基礎的・臨床的研究 肺癌・縦隔腫瘍の診断と治療	日本外科学会・専門医/日本救急医学会/日本胸部外科学会・認定医/琉 球医学会/日本呼吸器外科学会・専門医/日本消化器内視鏡学会/日本消 化器外科学会・認定医/日本癌治療学会/日本内視鏡外科学会/日本臨床 腫瘍学会/日本肺癌学会/日本臨床外科学会/日本がん治療認定機構暫定 教育医
外科医師	比嘉 昇	琉球大学(平成7年卒) 一般外科	日本外科学会/日本胸部外科学会/日本呼吸器外科学会/日本消化器外 科学会/日本内視鏡外科学会/日本血管外科学会/日本乳がん学会
消化器外科医師	久志 一朗	佐賀大学(平成6年卒) 一般外科・消化器外科	日本消化器外科学会/日本消化器内視鏡学会/日本外科学会/日本癌治療 学会

整形外科

整形外科医師	豊原 一作	琉球大学(平成2年卒) 整形外科一般 手の外科、リウマチの外科	日本整形外科学会・専門医/日本リウマチ学会・専門医/日本手の外科学 会/日本リウマチ関節外科学会/日本肘関節外科学会/リウマチ外科研究 会/西日本整形災害外科学会/日本整形外科学会リウマチ医
--------	-------	---------------------------------------	---

呼吸器内科

内科医長	宮城 茂	鳥取大学(昭和51年卒)、鳥取大院(昭和56年卒) 呼吸器内科 肺癌の診断と治療、肺結核症の疫学・病態・治療 気管支喘息の治療	日本内科学会/日本呼吸器学会/日本結核病学会/日本呼吸器内視鏡学会 /日本肺癌学会/日本アレルギー学会
緩和医療医長	大湾 勤子	琉球大学(昭和62年卒)、琉球大院(平成3年卒) 呼吸器内科 呼吸器感染症、緩和医療、びまん性肺疾患の診断と 治療	日本内科学会・専門医/日本呼吸器学会・専門医/日本感染症学会・専門 医/日本肺癌学会/日本結核病学会/日本緩和医療学会/日本呼吸器内視 鏡学会/日本アレルギー学会
内科医師	仲本 敦	琉球大学(平成元年卒)、琉球大院(平成5年卒) 呼吸器内科・呼吸器感染症	日本内科学会・認定医/日本呼吸器学会・専門医/日本肺癌学会/日本感 染症学会/日本結核病学会/ICD・認定医
内科医師	藤田 香織	琉球大学(平成11年卒)、琉球大院(平成16年卒) 呼吸器内科・呼吸器疾患の診断と治療	日本内科学会・認定医/日本肺癌学会/日本結核病学会/日本感染症学会 /日本呼吸器学会
内科医師	原 真紀子	香川医大(平成15年卒) 呼吸器内科・呼吸器疾患の診断と治療	日本内科学会・認定医/日本呼吸器学会/日本呼吸器内視鏡学会/日本肺 癌学会/日本緩和医療学会
呼吸器内科医師	仲松 正司	琉球大学(平成12年卒)、琉球大院(平成19年卒) 呼吸器内科	日本呼吸器学会/日本内科学会/日本感染症学会
呼吸器内科医師	山内 桃子	琉球大学(平成16年卒) 呼吸器内科	日本呼吸器学会/日本内科学会

消化器・一般内科

総合診療科医長	樋口 大介	琉球大学(平成元年卒) 消化器内科、早期胃癌・早期大腸癌の内視鏡的治療 肝臓疾患の診断と治療	日本内科学会・専門医/日本消化器内視鏡学会・専門医/日本消化器病 学会・専門医
---------	-------	--	--

神経内科

神経内科医長	諏訪園 秀吾	鹿児島大学(昭和63年卒)、京都大院(平成4年卒) 神経内科 臨床神経生理、事象関連電位	日本内科学会/日本神経学会/Society for Neuroscience/日本ME学 会/日本臨床神経生理学会
神経内科医師	遠藤 一博	福島県立医科大学(平成3年卒) 東北大院(平成12年卒) 神経内科、臨床神経学、神経免疫学、分子生物学	日本内科学会・認定医/日本神経学会・専門医・指導医/日本神経治療 学会・評議員/日本神経免疫学会・評議員
神経内科医師	樋口 雄二郎	鹿児島大学(平成15年卒) 神経内科、神経・筋疾患の診断と治療	日本内科学会・認定内科医/日本神経学会
神経内科医師	西平 やす靖	琉球大学(平成11年卒)、新潟大院(平成21年卒) 神経内科	日本神経学会/日本内科学会/日本神経病理学会

放射線科

放射線科医長	大城 康一	琉球大学(平成6年卒) 放射線診断学、呼吸器疾患の診断と治療	日本医学放射線学会・専門医/日本肺癌学会
--------	-------	-----------------------------------	----------------------

外来診療科担当医表

診療受付時間

初診:8時30分～15時まで(内科・外科)
最新:8時30分～14時まで

平成21年11月1日現在

		月	火	水	木	金
呼吸器紹介外来 (午前・午後)		仲本 敦	宮城 茂	喘息外来【交代制】 1週目 仲本 2週目 久場 3週目 仲松 4週目 宮城 5週目 原	原真紀子	久場 睦夫
呼吸器・一般内科 (紹介なし) (午前・午後)		久場 睦夫 原真紀子 山内桃子	仲本 敦	アスベスト外来【毎週】 久場	仲松 正司	宮城 茂 仲本 敦
緩和医療外来			大湾 勤子		大湾 勤子	
消化器内科			樋口 大介 (午前中)	樋口 大介	樋口 大介	
神経科	新患	諏訪園 秀吾 (午前中)	西平 靖 (午前中)	樋口 雄二郎 (8:30～11:00)	末原 雅人 (午前中)	遠藤 一博 (午前中)
	再来	遠藤 一博	末原 雅人	末原 雅人 (午前中)	西平 靖 樋口 雄二郎 (隔週交代)	諏訪園 秀吾 樋口 雄二郎
※初診の方の受付は、診療に時間を要し検査等も必要ですので、午前中までの受付になります。水曜日は11:00までの受付です。 ※急患の場合は相談下さい。なお、再診は完全予約制です。予約時間までにおいで下さい。						
放射線科		大城 康二	大城 康二	大城 康二	大城 康二	大城 康二
※CT・MRI・RI検査・放射治療(リアニック)は随時受付【内線759】						
外科 呼吸器外科 血痰外科 肺ドック		河崎 英範 久志 一朗 (消化器)	国吉 真行 野村 謙	石川 清司 饒平名 知史	比嘉 昇 久志 一朗 (消化器)	川畑 勉
整形外科		豊原 一作 (午前中)	豊原 一作 (午前中)	豊原 一作 (8:30～11:30)	豊原 一作 (午前中)	豊原 一作 (午前中)
リハビリ科		宮城 茂	久場 睦夫	仲本 敦	久場 睦夫	大湾 勤子
歯科					當 銘 美 音 (午後)	
専門外来			【乳腺・甲状腺外来】 野村 謙 (予約制) 13:00～17:00	【禁煙外来】 呼吸器内科 9:00～12:00 【総合相談】 石川 清司 13:00～16:00		

医局業務分担表



業務別責任者

レジデント・臨床研修担当 …… 河崎 英範(外科) 仲本 敦(内科)
諏訪園 秀吾(神経内科)

クリティカルパス担当 …… 川畑 勉 大湾 勤子

学会・研究担当 …… 遠藤 一博 比嘉 昇

地域連携・診療録担当 …… 大城 康二 比嘉 昇

輸血療法担当 …… 久志 一朗 仲松 正司

ドック・専門外来担当 …… 樋口 大介 遠藤 一博

ISO推進委員 …… 川畑 勉 諏訪園 秀吾

ISO内部監査員 …… 河崎 英範 豊原 一作

経営改善小委員会 第一委員会担当 …… 川畑 勉 樋口 大介
第二委員会担当 …… 宮城 茂 諏訪園 秀吾
第三委員会担当 …… 末原 雅人 大湾 勤子
第四委員会担当 …… 国吉 真行 藤田 香織

リスクマネジメント委員会 …… 国吉 真行 仲本 敦
遠藤 一博

褥創対策委員会 担当委員 …… 豊原 一作 久志 一朗

院内感染対策委員会 担当委員 …… 仲本 敦 藤田 香織
饒平名 知史

外来化学療法委員会 …… 仲本 敦 饒平名 知史

病院広報委員会 担当委員 …… 河崎 英範 原真紀子

栄養管理委員会 担当委員 …… 樋口 大介 仲松 正司

健康管理医(産業医) …… 宮城 茂

病棟外来責任者

外来 …… 川畑 勉 中材手術室 …… 国吉 真行 中3病棟 …… 仲本 敦

中4病棟 …… 河崎 英範 北2病棟 …… 末原 雅人 北3病棟 …… 樋口 大介

北6病棟 …… 宮城 茂 西1病棟 …… 諏訪園 秀吾 西2病棟 …… 遠藤 一博

緩和ケア病棟 …… 大湾 勤子

医局委員

医局長 …… 河崎 英範 会計 …… 大湾 勤子 庶務 …… 豊原 一作

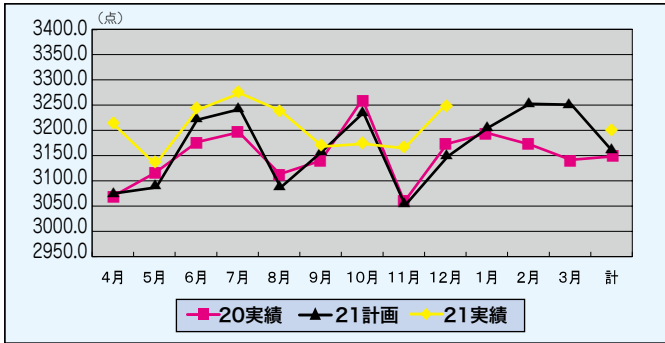
図書 …… 饒平名 知史 薬剤 …… 諏訪園 秀吾 会計監査員 …… 遠藤 一博

副医局長 …… 仲本 敦

平成22年1月19日現在

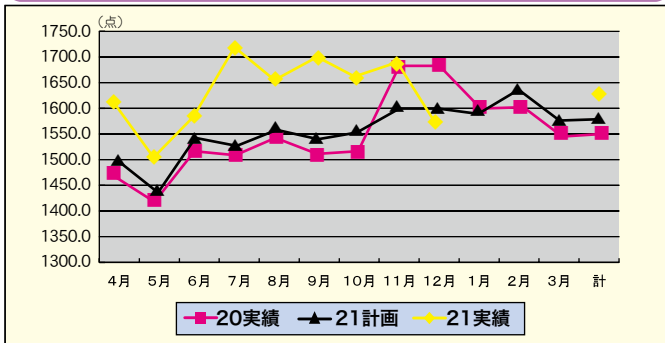
医事統計

一人一日あたり診療点数(入院)



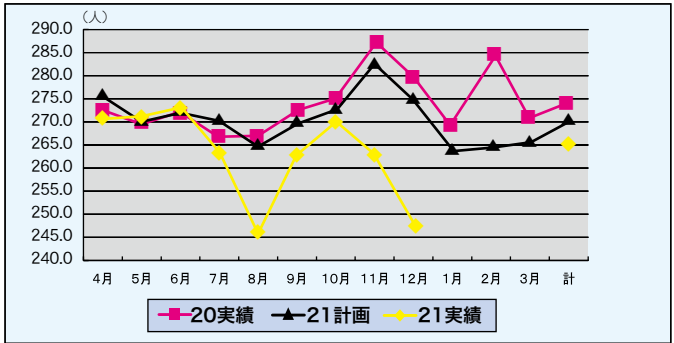
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
20実績	3,088.9	3,112.3	3,177.9	3,193.4	3,111.0	3,135.1
21計画	3,072.6	3,070.9	3,225.5	3,237.0	3,078.1	3,161.8
21実績	3,217.3	3,133.2	3,242.1	3,278.3	3,238.0	3,164.3

一人一日あたり診療点数(外来)



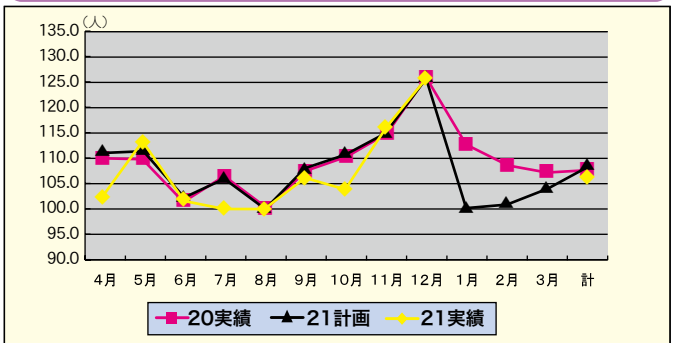
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
20実績	1,470.6	1,422.9	1,522.1	1,511.8	1,547.0	1,516.9
21計画	1,487.3	1,441.8	1,541.3	1,527.7	1,590.0	1,540.5
21実績	1,602.9	1,506.9	1,588.1	1,720.1	1,658.4	1,679.8

一日平均患者数(入院)



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
20実績	273.6	269.4	272.6	267.0	267.9	273.0
21計画	275.8	270.7	272.9	270.5	265.7	270.0
21実績	271.2	271.2	273.9	262.5	246.1	263.7

一日平均患者数(外来)



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
20実績	110.5	110.9	102.0	106.0	100.2	108.0
21計画	110.5	110.8	102.0	106.0	100.2	107.9
21実績	102.6	114.0	101.0	100.8	100.0	106.8

編集後記

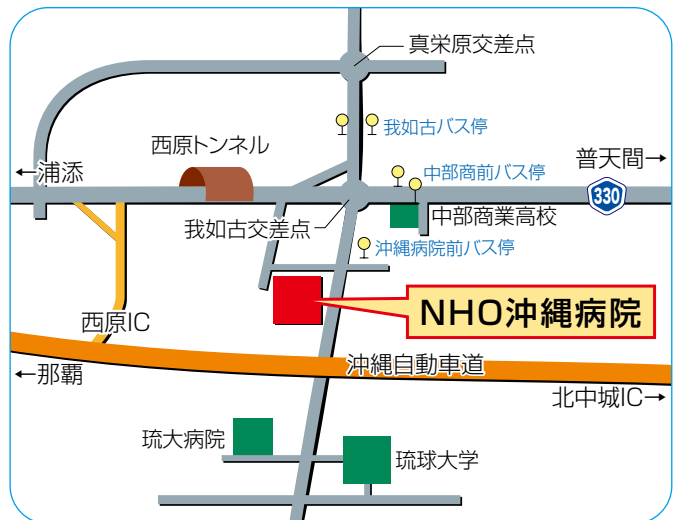
沖縄地方以外の地方でもバナナの木を見かける事は良くある。バナナは、沖縄に限らず日本人にとって非常に身近な植物であり食べ物でもあると思う。日本人でバナナを食べたことがない人はいないだろうし、見たことがない人もいないと思う。また、バナナの木にバナナになることを知らない人もいないと思う。

しかし、「バナナの花」と言えば、話は別ではないだろうか。日本国内の沖縄以外の所ではバナナに花が咲くことは滅多にないと思う。沖縄では、毎年バナナの木に花が咲き、そして実がなる。沖縄に住んでいる人から見れば、特に珍しいことではないのかも知れないが、沖縄以外の所では滅多に見ることが出来ない貴重な光景だと思ふ。沖縄出身者以外の人にとって、バナナの木に花が咲き、実が付く光景は正に「超感動もの」である。

編集委員会では記事を募集しています。何か良い記事がありましたら、お近くの編集委員までお願いします。



3ページのクイズの(答)：バナナの花



編集委員

久場睦夫、金城富樹、名嘉時子、佐多卓也、宮里征武、岩村正史、安里栄子、島田明子、嘉陽恵子、新里 満、田中祐治、岩辻好夫